



所属・階級は表彰時のものです。

通報者の三浦さんには後日、浪速消防署長から感謝状を贈呈。

功績概要

令和5年11月27日17時頃、大阪メトロなんば駅のホームにて50代男性が突然倒れたところをホームに居合わせた三浦若葉さんが発見し119番通報。同時に電車から下車した仲西尚子さんが現場を目撃して観察を行い、心肺停止状態であると判断し駅員にAEDを要請するとともに、胸骨圧迫を開始。また現場に居合わせた新城俊さんと田島和幸さんが救命処置に協力し、その後に到着した消防隊が電気ショックを実施した結果、救急隊が到着した時には心肺機能が回復していました。その後、約1カ月間の療養を経て、男性は後遺症を残すことなく社会復帰を果たしました。三浦さん、仲西さん、新城さん、田島さん、4人の見事な連携プレーと勇気ある行動に敬意を表して、浪速消防署長から感謝状を贈呈しました。

\#7119/



救急安心センターおおさか だより

季節を彩る花に潜む危険



6月に入り梅雨の季節となりました。梅雨の季節を代表する花といえば紫陽花です。実はこの紫陽花には毒があるということをご存知でしょうか？

紫陽花の毒性成分については明らかになっていないことも多くあり、未だに中毒の原因物質の特定には至っていません。しかし、厚生労働省のウェブサイトでは、「料理に添えられていた紫陽花の葉を食べて中毒症状を起こした」という事例が2件紹介されています。中毒症状としては、嘔吐、めまい、顔面紅潮などの症状が現れるようです。

紫陽花による中毒ではありませんが、救急安心センターおおさか（以下、「当センター」という。）にも似たような相談が寄せられていましたので紹介します。

男の子(1歳)一母親からの相談ー

5分程前に、飾っていた桃の花びらを2枚食べた。調べたら毒があるとのこと、心配になったため相談。いまのところ嘔吐や機嫌が悪いといった症状は何もない。

→当センター看護師から「中毒110番(072-727-2499)」をご案内

当センターは、現れた症状に対して医療相談や病院案内を行う窓口です。本事例は症状がないとのことでしたので、中毒についての相談を受け付けている「中毒110番」をご案内しています。

季節を彩る花には様々なものがありますが、口にしてはいけない花があることに注意が必要です。しかし、いくら注意を払っていても、小さなお子様などが好奇心から口にしてしまうことがあります。そのような時に、何か中毒症状が現れて救急車を呼ぶかどうか迷ったら、まずは、当センター（＃7119または06-6582-7119）にご相談ください。

救急安心センター着信件数(令和6年4月)

総着信件数(1日あたりの件数)	26,076件(約869件)
対前年同月比	2,620件増加

一緒に備えましょう！

災

害

いつなにか



あなたは言える？英語でこの表現！

今回は災害時の英語について考えてみましょう。

いざという時、あなたは外国人被災者に自分の言いたいことを伝えられますか？



想像してみよう、こんなシチュエーション

あなたが駅のホームで電車を待っていると大きな地震が！
駅舎はかなりの損傷があり、ここに居続けるのは危険そうです。
スマホは通信できない状態で、周りを見ると困った様子の外国人観光客らしき人が。
とりあえず

- ◆ 電車はおそらく来ない
- ◆ 余震があるかもしれない
- ◆ ここにいるのは危険、安全な場所に避難した方がいい
- ◆ 一緒に駅の外に出て、情報を確認しよう

ということを伝えたい。

さあ、あなたはどれだけ言えますか！?



日ごろから意識！英単語や英語表現

これくらいなら、すらすら話せる！という方もいると思いますが、不安に感じた方も多いのでは。

たいていの方はスマホを使えばコミュニケーションができますが、災害時に通信ができない可能性があることを考えると、普段から使える単語や表現をストックしておくことが重要です。

まずは単語で、余裕があれば文章でコミュニケーションすることを目標にしましょう。

表現	単語	文章
電車はおそらく来ません	たぶん:probably (maybeより発生確率が高い事象に使用)	■The train probably won't come. ■The train probably ceased operations.
余震があるかもしれません	余震:aftershocks (余震は通常複数回発生するので複数形で使う)	■There might be aftershocks. ■There's a possibility of aftershocks.
ここにいるのは危険です	ここ:here 危険な:dangerous	■It's dangerous to stay here. ■Being here poses a risk.
安全な場所に避難した方がいいです	安全な場所:safe place 避難する:evacuate 避難所:shelter	■It's better to evacuate to a safe place. ■You should seek shelter in a secure location.
一緒に駅の外に出て情報を確認しましょう	情報:information 確認する:check,confirm	■Let's go outside the station together and check the information.

いかがでしたか？ご紹介した単語や例文は一例で、ほかの表現を使っても伝わればそれでOKです！

普段から自分が言えない単語や表現をスマホで英訳する習慣を身に付けければ、いざという時に役に立つはず！防災英会話力を高めて、困っている誰かの力になりましょう！

★おまけ★ 次の単語、英語に訳せますか？（答えはあえて載せていません。わからないものは今すぐ調べましょう！）

①地震 ②火災 ③災害 ④津波 ⑤土砂崩れ ⑥けが人 ⑦仮設トイレ ⑧炊き出し ⑨停電 ⑩断水

長崎士長へ一問一答

Q1 今回の意見発表会に出場するにあたり、なぜこのテーマにしようと思われましたか。

A1 イラクの結婚式で起きた火災のニュース映像を見たのがきっかけです。天井引火から崩落までの数十秒が克明に記録された衝撃的な映像でした。

Q2 身振り手振りを交えた発表には惹きつけられるものがありましたが、工夫した点がありますか。

A2 身振り手振りを大きくすることで、発表内容に込めた『想い』が伝わるように工夫しました。動きで呼吸・リズムを整え、発表時間管理を安定させる意図がありました。

Q3 失見当に陥るという事実を体験するにはリアルな災害を想像してもらうとありますが、具体的な方法がありますか？

A3 SRC対象物であれば「階段室で火災が発生したらどうしますか？」と問いかけ、危機的状況を想像してもらいます。その場で即座に避難方法を考えてもらうことで、失見当リスクを最小限に抑制します。

Q4 逃げ遅れゼロを目指すため、長崎士長が普段から取り組んでいることはありますか？

A4 予防担当として、重大不備の是正に全力を注いでいます。『傾聴』を意識した市民対応を心がけています。

Q5 最後に、優秀賞を受賞されて一言お願いします。

A5 意見を発表する大会という名目ではありますが、奥が深い。限られた時間内で意見を伝える『力』が求められ、文章構成・時間配分・抑揚・距離感等の練度を高めなければなりません。相手に自分の意見を伝えるという、業務に結び付くスキルが身に付く貴重な機会をいただき、ありがとうございました。次の目標は【最優秀賞】です!!



今月の

令和6年4月11日(木)
～エフエムちゅうおうラジオブース～

ラジオCM収録の合間に撮影した一枚です。大阪市消防局では、月替わりで防災に関するラジオCMを流しています。

消防職員意見発表会

令和6年2月7日に第71回消防職員意見発表会が開催されました。

前年に続き、今年もすべての発表が充実した内容で、職務に対する熱い思いが語られました。

こちらのページでは、意見発表会に出場した職員の発表内容について、動画を交えてご紹介していきます。

今回は、優秀賞を受賞した東成消防署・長崎士長の発表を紹介します。

優秀賞

逃げ遅れゼロを目指して



東成消防署 予防担当
長崎 弘樹



令和5年9月26日

イラクの結婚式での火災 逃げ遅れによる死者107名

出火場所は屋内の披露宴会場。演出で使用した花火が天井へ引火。可燃性パネルで作られていた天井は、瞬間に延焼が拡大し、30秒で崩落。幸せな結婚式で、新郎新婦は兄弟や母親を失ったと報じられています。

30秒という限られた時間。もしすぐに決断を下して避難出来ていたら...そう考えて止みません。

消防白書によれば、日本の直近10年における年間平均の火災死者数は1180名。逃げ遅れは約半数を占め、その中には、逃げる事ができたはずなのに助からなかった75名以上の人が含まれます。

いったいなぜ、避難行動に遅れが生じるのでしょうか。

人は突然の災害に遭うと、心のブレーカーが落ちます。つまり、頭が真っ白になり、命を守る行動がとれなくなります。このパニック状態のことを『見当を失う』と書いて「失見当」と呼びます。災害心理学によれば、実に9割に上る人がこの失見当状態に陥ると言われています。

イラクの火災映像では、呆然と立ち尽くす人、その場で慌てふためく人、出口ではない方向に逃げる人が見受けられました。私はこれほど多くの方が同時に失見当に陥る様子を、初めて目の当たりにしました。

『避難する』と言葉にするのは簡単ですが、行動に起こすことはとても難しいのです。

災害現場での失見当を乗り越えるために大切なことが2つあります。まず1つは『失見当という心理状態が誰にでも起こる』という事実を知ることです。予め知っておけば「ああ...これが失見当なんだな」と冷静に判断できるのです。そして2つめは『失見当を克服した人が周りに呼びかけること』です。動揺を打ち消すように「大丈夫!落ち着いて避難しよう」と声をかけることで安心感が伝わり、周囲も冷静さを取り戻します。

この2つを組み合わせることで多くの方が失見当を乗り越えることができます。迅速な意思決定が命を守る行動へと繋がり、逃げ遅れの減少を生むのです!

そこで皆さんへ提案があります!現在、大阪市消防局では特定一階段等防火対象物を中心とした避難対策の強化に取り組んでいます。その取組の際、『災害時の心理』について伝えるというのはどうでしょうか。

その建物で起こりうるリアルな災害を想像させ、高確率で誰でも失見当に陥るという事実を実体験として感じてもらいます。このようにして、考え、向き合うことが失見当の克服に繋がり、心のブレーカーを素早く戻せる訓練になるのです。

「ありがとうございます!あとき消防さんが教えてくれたから冷静になりました!」

「家族がパニックになりましたが、私の呼びかけで全員が避難できました!」

たくさんのこのような声を聞くために、まずは小さな一歩から踏み出しませんか?救える命はあります。私たちが『失見当』の怖さについて発信し、消防職員一丸となって市民の心の訓練を実施していきましょう!



修業式

新戦力の誕生！



第1小隊



第2小隊



第3小隊



第4小隊

私たち、初任教育生189名は、昨年10月溢れんばかりの期待と不安に胸を膨らませてこの大阪府立消防学校に入校しました。振り返ると、消防学校での時間は長いようで瞬く間に過ぎていきました。

入校当初は訓練中の声の大きさ、服装や資機材の不備、駆け足の歩調が合っていないことなど、細かいところまで教官方から厳しく指導を受けましたが、その指導に理不尽な事はありませんでした。声の大きさは騒音の多い現場で仲間の隊員と確実なコミュニケーションを取るため、全て現場での活動に繋がるという事を教えていただきました。教官方は「現場で君たちに絶対殉職してほしくない。一人でも多くの人を救えるカッコいい消防士になってほしい」と言ってくださいました。様々な災害現場を経験してこられた教官の口から聞くその言葉は説得力があり、私たち学生に真剣に向き合ってくださっている熱い気持ちが伝わり心に響きました。

かつて、日本一厳しいと言われていた大阪府立消防学校の教官は、日本一愛のある教官方でした。

私たちが主担教官から頂いた言葉があります。「素直」「礼節」「挑戦」という3つの言葉です。私たちはこの3つの言葉を大切に訓練に励み、それだけではなく日々生活する中でも大切にしてきた言葉です。これから私たちはこの言葉を心に留めて大阪の街と市民の皆様の安全安心を守っていききたいと思います。

最後になりましたが、学校長、教頭をはじめ、教官の皆様へ厚くお礼申し上げますとともに、関係者の皆様のご健康とご多幸、並びに大阪府立消防学校の今後益々のご発展を祈念いたしまして、お礼の言葉とさせていただきます。



第115回初任教育 総代
枚方寝屋川消防組合
消防本部
加藤 晃久



実科査閲

見え隠れする春の兆しを感じ始めた3月27日、第115回初任教育の実科査閲と修業式が行われ、6ヶ月間の厳しい訓練に耐えた初任教育生は、家族や大切な人に成長した姿を披露しました。第115期生の最終回となる今月号は成長した初任教育生の勇姿をお届けします。

【救急】

救急訓練では、
救急救命技術は
もちろんのこと、
傷病者に寄り添う
優しい心を身に
付けました！



【ロープ】

ロープ訓練では、自
身と仲間を確実に
守りながら人を救
う方法、そして「要
救助者を必ず救
う」という熱い気持
ちを学びました！



【ポンプ】

ポンプ訓練では、
消防にしかできな
い効率的な「火災
との戦い方」を身
に付けました！





摂津市消防本部 北大阪消防指令センター(NOC119) 運用開始

本市は、平成28年から吹田市と指令業務の共同運用を行っていましたが、令和6年4月1日、豊中市（能勢町）・吹田市・池田市・箕面市（豊能町）と北大阪消防指令センター（吹田市佐竹台1丁目、吹田市総合防災センター内）で共同運用を開始しました。

北大阪消防指令センターは、管内5市2町の人口約114万人、面積約290km²を管轄する指令センターです。

共同運用による本市のメリットは、単独で指令センターを整備するよりも低コストで高機能な機器が導入できること、他市消防との相互応援体制が強化されること、指令センターへの派遣人員が減少するため、現場要員や予防要員などへの効率的な人員配置が可能になることなどが挙げられます。

119番通報が集中した場合の受信能力や処理能力が向上するだけでなく、ICTを活用したシステムの導入でより正確な情報が得られるため、高度な災害対応や消防行政サービスの提供が可能となりました。



泉大津市消防本部 堺市と泉大津市間で「はしご付消防 自動車」の共同運用を開始

泉大津市では、消防体制の広域的な運用及び行財政面での効率化、また更なる災害対応能力の向上のため、令和6年4月1日から堺市とはしご付消防自動車の共同運用を開始しました。

堺市が既に保有する40m級はしご付消防自動車等を両市が連携して運用するもので、当市からの出動要請に基づき、40m級はしご付消防自動車とはしご支援隊の消防ポンプ自動車に、市域を越えて出場していただきます。

これにより、当市では現場活動要員の増強、両市での整備維持管理費の低減や消防戦術の共有等により、受援時における円滑な連携体制や消防力の強化が図られます。

今後は、定期的に両市で連絡会議を開催するとともに、消防隊の連携や安全管理面の充実に向け合同訓練を実施するなど、更なる現場活動における連携を強化し、市民サービスの向上を図ってまいります。



高槻市消防本部 わがまちの「コード・ブルー」 特別救急隊

本市では、重篤な傷病者に対する救命率の向上を図るため、大阪医科薬科大学病院と連携し、救命救急センターの医師が同乗する特別救急隊を運用しています。

119番通報時に傷病者が重篤な状態であると指令員が判断した場合、所轄救急隊と同時に特別救急隊を出動させています。

医師が救急現場に駆け付けることで、早期に医療行為が開始でき、搬送中や病院到着後も継続的な治療が実施できることが特別救急隊のメリットであり、本市が誇る先進的な救急医療体制の中心的な役割を担っています。

今年はその特別救急隊の相棒であるドクターカーの更新時に、特別救急隊と所轄救急隊を瞬時に判別できるよう、従来の赤色のボディーラインから青色のボディーラインにデザインを一新しました。

ドクターカーには、医師と救急救命士がワンチームとして乗車し、プレホスピタルとインホスピタルが有機的に連携する理想的な医療を目指し、「安全・安心のまちづくり」のため、これからも走り続けます。



守口市門真市消防組合消防本部 新防火衣の導入

守口市門真市消防組合では、令和6年3月に防火衣（現場外套）の更新を行いました。今回の更新では、災害現場で活動する隊員への安全性及び機能性について高い水準を求めるため、当消防組合内で会議を重ね、活動隊員の要望を反映した防火衣を採用し、災害活動時の機能性が格段に高まったものとなっています。特徴として、夜間での活動や濃煙を伴う屋内進入時の視認性を向上させるため、各部位に蓄光反射テープを縫い付け、光の照射に関係なく発光することができるものとなり、蓄光を用いることで、光源の無い災害現場で隊員の位置を容易に把握することが可能となりました。また、皮革製の長靴（Fire Eagle 2.0）を採用し、血液やウイルス等の液体からの保護力を高め、災害活動における高い安全性を確保しました。

守口市門真市消防組合は、隊員の安全な活動環境を維持することにより、消防力を高め、今後も消防の目的達成のために全力を注ぎ続けます。

はじめに

令和5年の火災状況について、過去5年間の統計と比較しながら、火災件数、出火原因やその特徴についてまとめます。

火災件数

令和元年から5年間の火災件数の推移を示します(図1)。令和元年の火災件数は745件、新型コロナウイルス緊急事態宣言が発令された令和2年に704件、コロナ禍真っ只中の令和3年に596件という統計データからは、社会状況や人の動きが、火災件数に影響していることがうかがえます。

一方、令和5年の火災件数は707件で、令和4年の643件から64件増となり、令和3年以後、増加傾向にあります。令和4年と同様に、新型コロナウイルス感染症防止に伴う行動制限等がなかったことが、火災件数の増加につながったものと考えられます。

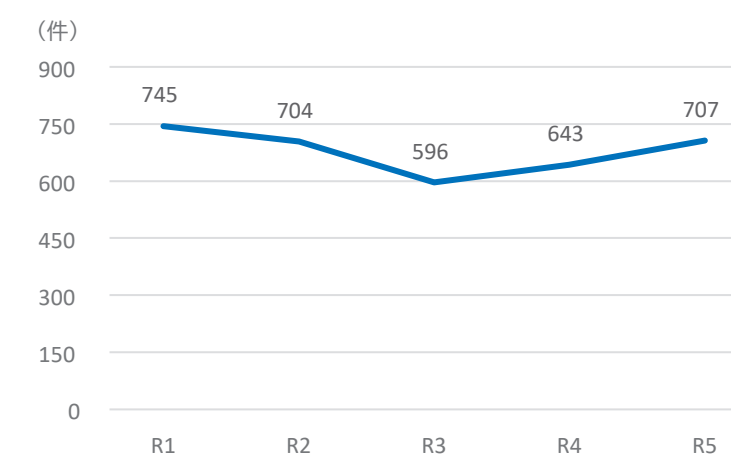


図1 火災件数(過去5年間)

表1 過去5年間の出火原因と火災件数

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
1位	たばこ 151	たばこ 134	たばこ 98	たばこ 125	たばこ 130
2位	放火 113	放火 115	放火 96	放火 73	放火 82
3位	ガスこんろ 64	電気配線 75	電気配線 65	電気製品 68	ガスこんろ 79
4位	電気配線 63	ガスこんろ 58	電気製品 61	電気配線 64	電気配線 74
5位	天ぷら油 57	天ぷら油 58	天ぷら油 50	天ぷら油 54	電気製品 72
6位	電気製品 53	電気製品 49	ガスこんろ 38	ガスこんろ 46	天ぷら油 47

出火原因とその特徴

令和元年から5年間の出火原因をまとめました(表1)。出火原因トップの「たばこ」に次いで、「放火」が続く状況は、この5年間に変化は見られません。

令和5年の出火原因の3位である「ガスこんろ」については、令和4年は46件、令和5年は79件と、この1年間で33件も増加しています。令和3年までは減少傾向にあったガスこんろ火災が、令和5年に急増していることが分かります。

「飲食店」の火災

出火区画用途別の統計から

図2は、出火区画用途別の統計から、「飲食店」の火災件数を示したものです。これを見ると、令和3年の50件から令和5年の76件と増加傾向にあることがわかります。

前述した出火原因の「ガスこんろ」と、出火区画用途別の「飲食店」のデータからは、火災件数と同様に、新型コロナウイルス感染症防止に伴う行動制限等

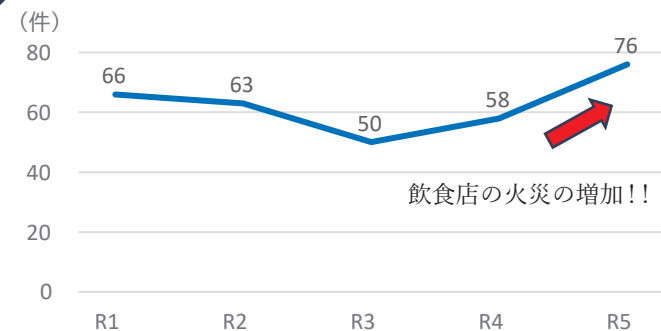


図2 飲食店の火災件数(出火区画用途別)

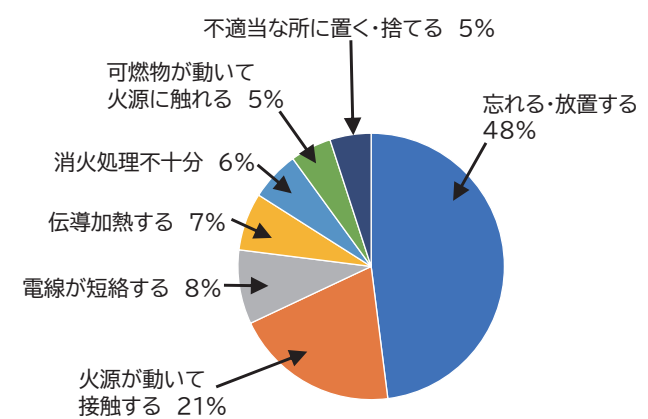


図3 飲食店火災の発生経過(令和元年～令和5年9月末まで)

おわりに

統計データを考察すると、火災件数や出火原因といった火災状況が、社会動向や人の動きに大きく影響されていることが分かります。出火区画用途別の「飲食店」及び出火原因で

ある「ガスコンロ」の増加については、今後もその傾向が続くことが危惧されます。引き続き「飲食店」や「ガスこんろ」に関する火災予防広報(チラシ配布や注意喚起)、指導(立入検査や防火指導)を行い、火災が発生する原因を周知し、注意を促していく必要があります。市民の意識を変えることは、火災予防の第一歩です。本稿が、データに基づく分かりやすい指導につながり、今後の更なる火災件数の減少と、火災予防啓発の一助となれば幸いです。

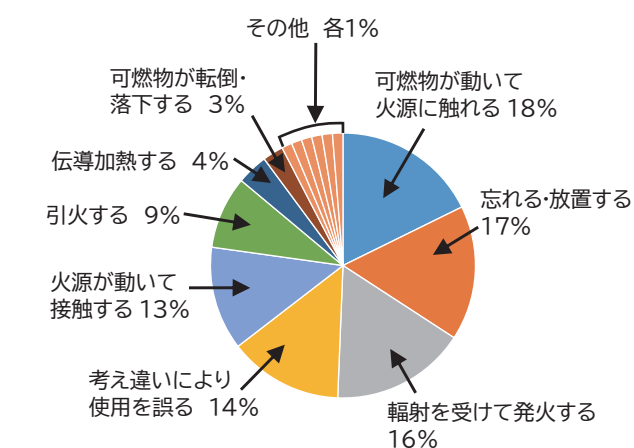


図4 ガスこんろ火災の発生経過(令和5年中)

◆大阪市消防局のサイト◆
さらに詳細な情報についてはこちらをご覧ください